

## これまでの取り組みの成果と、運動を発展させる方向性を共通のものにした「10・18 都民集会」

10月18日、豊島区民センターで「都立高校と教育を守る 10.18 都民集会」が開かれました。不登校の親の会のシンポジウムや都立高校の説明会などが重なった日でしたが、100名近くの方が参加されました。

はじめに、**全都連絡会・事務局から基調報告**を行いました。基調報告では、都立高校統廃合・改編の嵐の中で、一見都教委の計画通り進んでいるように見える。が、各地での粘り強い取り組みによって高校統廃合・改編の見直しを求める都議会への請願や陳情が繰り替えし出されているが、一度も不採択にさせていない。「北地区チャレンジスクールの開校延期等関する陳情」では「教職員定数削減については、現場の要望を踏まえた、必要かつ適正規模の教員を配置すること」について趣旨採択を実現している。02年10月24日の「新たな実施計画」のプレス発表文章の冒頭には、「都議会の議論も踏まえ」学校関係者や地元関係者の意見をきちんと聞くという趣旨の文章を載せざるを得なかったなど、**全都の取り組みが都教委の手足を縛っている。運動の成果に確信を持ち、「都立高校のいまを考える」という会の名称にふさわしい取り組みの幅と連帯の幅を広げることが、都立高校統廃合・改編＝都立高校リストラをストップさせることにつながる**ことなどが、述べられた。

続いて、**東京でも、千葉でも、神奈川でも、埼玉でも、「公立高校統廃合に異議あり！」と、教育を守るために頑張っている取り組みの交流**が行われました。

定時制統廃合の当初案を撤回させ、市教委の定時制課程検討委員会に卒業生・保護者代表を加えさせた川崎市の報告、廃校を阻止した松戸南高校関係者の報告など、近県でも学校を守る運動が前進・発展していることが報告されました。

水元高校を守る会・九段高校定時制を守る会・四学区都立高校を守る会からは、現在進めている都議会請願書名についての報告。統廃合・改編問題を契機に行われている都県をこえた全定高校生の交流活動の報告。教育問題の連続市民講座を企画している地域からの報告。都議会請願を梃子に新たな取り組みの方向性を見いだしている両国定時制を守る会の報告。中学校の現場からは猫の目のように変わる都立高校入試の問題点を指摘した報告など、全都の多彩な活動内容が交流されました。

また、保護者にも支持されていた養護学校の教育内容への不当な介入や、石原知事のトップダウンで進められようとしている都立4大学への廃校攻撃などの報告も行われました。

養護学校や都立4大学への攻撃、そして、私たちの経験の交流も含めて、都が現在進めている教育攻撃が、上意下達の行政姿勢の下で、子どもの立場に立っていない施策であることが、あらためて浮き彫りになりました。

最後に、①早急に35人以下学級を求める署名 ②都教委の公立学校に対する教科書の押しつけを許さない署名 ③少人数学級・入試問題・教科書問題などについての学習会・シンポジウムなど、**当面の取り組みの提起を含んだアピールを採択**しました。

参加された方から、基調報告やアピールは、東京の教育運動の現状と今後の取り組みの方向性が詳しく提起されており、会場の発言とあわせて元気が出る内容だったという趣旨の感想が多数寄せられました。

### 都立定時制高校を守る会・連絡会の都教委要請

11月19日(水) 10時45分：都庁第二庁舎1階ロビー集合

**全都連絡会** 11月22日(土) 14時：阿佐谷地域区民センター(阿佐谷駅南口より徒歩2分)

\* 3学区都立高校を守る会の方に会場を取って頂きました\* 次回は、12月20日(土)14時(会場未定)

**該当校交流会** 11月22日(土) 18時30分：中野商工会館(電話 03-3389-1181)

\* 中野駅北口より徒歩7分・商店街を抜け早稲田通りに出たら道路を隔てた右手前方・隣は蕎麦屋さん